令和７年度北海道こどもの意見反映推進事業

フィードバック資料

北海道農業について

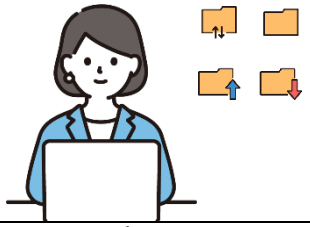
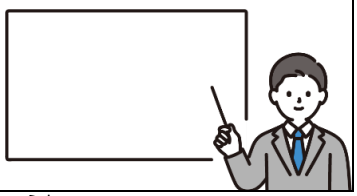
北海道農政部食料安全保障推進局

（１）　意見募集の概要

	対面	インターネットなど
い　つ	令和７年８月20日～11月28日	令和７年９月30日～12月５日
どこで	北海道内の４か所の学校	オンラインなど
だれに	生徒会に所属している人や、クラスの人など 70名(意見：574件)	北海道に住んでいるすべてのこども・若者（意見：173件）
方　法	学校を直接訪問して、ファシリテーターと対話しながら、思ったことを付箋に書き出してもらう方法で意見を聴きました。	匿名のＷＥＢアンケートや、訪問した学校以外でも同じ取組をしてもらい、意見を聴きました。
設問１（小学生）	最近、農業のお仕事をする人が減っていますが、皆さんは将来、お仕事として農業をやってみたいですか？	
設問２（中高生）	北海道では、農家が減少しており、今後、北海道の日本の食を支える力が弱くなってしまうことが心配されますが、北海道が日本の食料供給地域であり続けるために、何が必要だと思いますか？	
設問３（共通）	皆さんは、今後、農業とどのように関わって（応援して）いきたいですか？	

（2）意見の検討方法

沢山の意見をもらったので、次のような方法で検討を行いました。

順番	内容
①	学校訪問やWEBアンケートで、意見をもらう。
②	もらった意見を、担当する係の人が全部読む。
③	似ている意見をグループごとに分ける。 
④	分けたグループごとに、反映方法を検討する。
⑤	反映結果を資料にまとめて、ホームページで発表する。 

※グループごとに分けた意見の一覧は、こちらのHPで公開しています。

（URL：https://www.pref.hokkaido.lg.jp/hf/kms/r6iken.html）

（３）意見の反映先

みなさんから教えてもらった意見を次の取組に反映しました。

・第７期北海道農業・農村振興推進計画の案の策定

北海道の農業や農村をより良くしていくため、令和８年度（2026年度）から令和12年度（2030年度）までの５年間で、北海道が行う施策や目標などをまとめたものの案を、みなさんからのいただいた意見を取り入れて作りました。

この計画は、令和８年（2026年）４月１日から始まります。

・第７期北海道農業・農村振興推進計画の案は、以下に掲載しています。

北海道農業・農村振興審議会

- 審議会の開催状況（令和７年度（2025年度））
  - 第３回審議会（令和８年（2026年）２月５日開催）
    - 資料３-５　第７期北海道農業・農村振興推進計画(案)

https://www.pref.hokkaido.lg.jp/ns/sas/a0002/shingikai/home.html

（4）意見のポイントと活用方法

設問1（小学生）

最近、農業のおしごとをする人が減っていますが、みなさんは、将来、おしごととして農業をやってみたいですか？

「はい」と答えた主な理由

楽しさ・やりがい
違う仕事をやるより楽しそう、農業体験が楽しかったから
興味・意欲
収穫が楽しそう、野菜を一から育ててみたい
野菜の購入コストゼロ
自分が作れば野菜を買ったりしなくてもよさそうだから
食への関心
自分が作った野菜を食べたい、美味しい野菜を作りたい
収入の期待
農業はお金を稼げそう
食品開発
サツマイモやじゃがいもでポテトチップスを作りたい
社会貢献
食料自給率を上げるため、地産地消の取組を増やすため
共同作業への魅力
みんなで楽しく作業ができる、仲間がたくさんいる
環境による影響
お父さんが農家をやっていたから

「いいえ」と答えた主な理由

身体的な疲労・負担
体力を使いそう、力仕事だから疲れそう
労働時間・休日
休みが作れなさそう、１年中仕事をしていそう
気候・環境
夏は暑いから大変そう、泥で汚れるのがいやだから
虫・動物
虫が嫌いだから、牛などが怖いから
経済的負担
機械や種などが高い、農業機械などの準備にお金がかかる
興味不足
もっとかっこいい仕事がしたいから、他にやりたい仕事があるから
将来への不安
将来、作物が作れなくなるかもしれないから
農業へのイメージ
朝起きるのが早そう、土地が広くて大変そう

【活用方法】

みなさんからいただいたご意見を参考に、第７期北海道農業・農村振興推進計画の中で、おしごととして農業をやってもらう人を増やすための取組などについて書きました。

また、いただいたご意見は、北海道の農業がもっと良いものになるよう、さまざまな取組を進める際にも、参考とさせていただきます。

設問１【中高生】：北海道が日本の食料供給地域であり続けるために、何が必要だと思いますか？

【意見のポイント】

農業体験・教育
農業に関する講義や農業体験を行う
農業体験の機会を増やし、農業に対する意欲を上げる
後継者・担い手
農家の後継者を育成する、農業の担い手や若手の農家を増やす
SNSの発信
SNSで農業の魅力を発信する、幅広い世代に農業を知ってもらう
経済的支援
農家を経済的に支援する取組を行う、農家の負担を減らす
安定した収入
国の支援として安定した収入を得られる仕組みを整える
農家の給料を上げる
スマート農業の導入
機材の最新化のサポートや機材購入の負担を減らす
手間が省ける機械を増やし、スマート農業などの農機具の価格を下げる
価格保証
国が間に入り農産物の価格保証を行う
農産物の価格が、農家には安く消費者には高く感じる食い違いを無くす
外国人労働者
外国人労働者を受け入れる、外国人に農業体験の場などで働いてもらう
インフラ・流通の整備
道路・港の冷蔵設備のインフラを整備する、輸送・流通の仕組みを整える
土地の有効活用
耕作放棄地を再利用する、広い土地の有効活用を考える

【活用方法】

みなさんからいただいたご意見を参考に、第７期北海道農業・農村振興推進計画では「食料を安定的に供給する農業・農村の確立」などをめざしていく中で、土地の有効活用や、農家の後継者や担い手を育てることのほか、安定した収入を確保することなど、北海道農業が日本の食を支える地域であり続けるための取組について書きました。

また、いただいたご意見は、北海道の農業がもっと良いものになるよう、さまざまな取組を進める際にも、参考とさせていただきます。

＜スマート農業機械の一例＞

自動操舵システム

ドローン

ロボットトラクター

設問２：みなさんは、今後、北海道農業にどのように関わって（応援して）いきたいですか？

【意見のポイント】

道産食品の購入・消費
北海道産の農作物を使った商品を積極的に買う
料理や食事をする際に北海道産のものを使用する
キャラクター・プロモーション
農業に関するキャラクターを作りSNSでたくさんの人に発信する
SNS・YouTube発信
農業系のSNSを運用する、視聴する、農家の魅力をSNSなどで伝える
農業体験・ボランティア
気軽に参加できる農業イベントなどを企画する
農業のお手伝いやボランティアをする
食育・学習
幼いうちから北海道の食に触れてもらう
図書館や図書室に農業に関する、本やマンガを置く
作物のロス対策
余った作物を加工してもう一度売ってみる、肥料や飼料に変える
農業関連の職業
地元で農業に関わる仕事をする、農業の魅力を伝えることができる人になる
農家への資金援助
農家にクラウドファンディングで支援をする、農家に投資する
販売所の利用・拡大
農作物の直売所を利用する、道の駅などを活用して地産地消に取り組む
家庭菜園
家庭菜園を始める、自給自足を行う

【活用方法】

　みなさんからいただいたご意見を参考に、第７期北海道農業・農村振興推進計画では「消費者と生産者が支え合う農業・農村の確立」をめざしていく中で、食育・地産地消の推進やSNS等を活用した情報発信、食や農業・農村への理解を深める学習機会の充実など、たくさんの人が北海道農業に関わっていけるような取組について書きました。

　また、いただいたご意見は、北海道の農業がもっと良いものになるよう、さまざまな取組を進める際にも、参考とさせていただきます。

稲　作

畑　作

酪　農